

【施設状況】

グループ名称	長沼交流センター								
指定管理者名	長沼地区住民自治協議会					法人番号	2700150020808		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3389	長沼交流センター							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	ホール 1、会議室 2、和室 2、調理室 1、								
施設設置目的	地域づくりに関する活動、社会福祉に関する活動、生涯学習にわたる学習活動その他地域における多様な活動の場を提供するとともに、住民も教養及び地域文化の向上に資する事業を行うことにより、住民交流及び主体的な活動を促進し、もって地域の活性化及び住民福祉の増進に資することを目的とする。								
基本方針等	社会教育事業を行うとともに、市民の生涯学習活動、コミュニティ活動及び地域福祉の増進に資するための諸活動の場等を提供し、市民福祉の推進に寄与することを目的とする施設でより開かれた身近な施設、また、交流センターが地域の中心施設として、まちづくりに貢献する。								
主な実施事業	施設の利用に関すること、交流センター事業に関すること、地域との連携等に関すること、市立交流センターとの連携等に関すること、その他の事業に関すること								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	長沼地区住民自治協議会			指定回数	1 回	
指定期間	平成31年4月1日	～	令和4年3月31日	3年	管理運営開始日	平成31年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
		交流センター本館利用者数	人				7,086	#DIV/0!	4
		交流センター本館利用率	%				14.9	#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 令和元年度の利用者は、令和元年東日本台風災害により施設が損壊したため、10月11日までの集計。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・長沼交流センターの利用許可、不許可に係る事務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・長沼交流センターの施設、設備及び物品の維持管理に関する業務							
自主事業	地域や学校との連携協力により、地域住民こぞって参加できる、幅広い学習ニーズに合わせた各種事業を実施する。 〈生涯にわたる学習活動〉 太鼓ビクス・囲碁大会・シニア健康体操 〈地域づくりに関する活動〉 長沼城ウォークラリー・好きです長沼検定 〈社会福祉に関する活動〉 いきいき教室・ふれあい交流会								
サービス維持・向上の取組み (広報等)	交流センター便り3回/年発行(令和元年東日本台風災害により施設が被災したため、発行できたのはうち1回)、ホームページの更新等情報発信を行い、センター活動の広報に努めた。各種講座等の案内チラシを地域に全戸配布した。また「広報ながの」「生涯学習だより」への掲載、市民新聞や週刊ながのへの記事掲載により、事業活動や各種講座の情報など広く周知した。								

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。	
(3) 調査、会議等の結果	【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋 「箸ピーゲーム大会」 募集40人 受講者40人中40人から回答 満足87.5% やや満足12.5% 「ガキ大将教室」 募集20人 受講者人30中19人から回答 満足42.1% やや満足31.6% やや不満26.3% 「すこやか子育て教室」 募集280人 受講者206人 アンケート用紙への記入は得ていないが、おおむね満足		
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋 「箸ピーゲーム大会」 フレイル予防にも役立っている内容であり好評だった。 「ガキ大将教室」 今年度初めて開講した講座で、夏休み中の子どもの居場所づくりとして実施。チャンバラやけん玉等の昔ながらの遊びを行い好評であった。 「すこやか子育て教室」 年12回計画し、8回実施。令和元年東日本台風災害により施設が損壊したため一旦は中止したものの、参加者からの要望と地域の母親たちの心の拠り所として古里公民館で再開した。避難等により地域住民が離れ離れとなる中、地域の人同士がつながりを持つことができる場として好評であった。	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項		
≪対応措置≫			

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 90,000 指定管理料 12,237,000 委託料 販売収入等 その他収入 268,072 計 12,595,072	収支実績額	利用料金 19,650 指定管理料 12,097,000 委託料 販売収入等 その他収入 223,706 計 12,340,356	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 28,000 貸付料 その他 計 629,692	平成30年度決算(前年度)	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 48,000 貸付料 その他 計 832,146	
支出	人件費 7,270,500 設備管理費 300,000 備品購入費 備品購入費 500,000 光熱水費 1,060,000 事業費 1,020,000 事務経費 1,704,572 本社経費 その他 740,000 計 12,595,072	収支実績額	人件費 6,694,823 設備管理費 92,252 備品購入費 901,941 修繕費 199,350 光熱水費 504,288 事業費 379,153 事務経費 3,061,749 本社経費 その他 506,800 計 12,340,356	歳出	指定管理料 12,097,000 委託料 需用費 464,888 役務費 使用料・賃借料 16,804 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他 計 12,578,692	平成30年度決算(前年度)	指定管理料 11,862,000 委託料 需用費 851,659 役務費 使用料・賃借料 29,701 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他 699,840 計 13,443,200		
自主事業	収入 100,000 支出 100,000 自主事業損益 0 損益 0	収支実績額	収入 70,800 支出 70,800 自主事業損益 0 損益 0	差引	-11,949,000		-12,611,054		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								54.3%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p> <p>協定内容・指定管理者提案</p> <p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p>	4
<p>・地域学びの課地域住民及び地域の各種団体、特に学校などと常に連携協力しながら事業運営を行う。 ・長沼小学校と連携し、信州型コミュニティスクール「りんごっこ支援の会」に人材を派遣するなど積極的にサポートし、学習支援の充実を図る。 ・地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を進める。 ・地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。 ・地域公民館との連携に努め、必要な助言を行う。</p> <p>令和元年東台風により施設が損壊し、多くの講座が開講できない中、受講者からの要望を受け親子学級を他施設を借りて実施し、避難等により地域住民が離れ離れとなる中、地域の人同士がつながりを持つことができる場として好評であった。</p>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由	<p>地域の特性を活かした自主事業を展開し、空き教室の有効活用を図ったことを評価し「施設の有効活用」は「4」とした。夏休みに初めて企画した「ガキ大将教室」は、昔ながらのチャンバラやけん玉遊びを子どもたちが体験し、参加者から好評を得るとともに、事業後のアンケート結果でも好評であることから「利用者評価」は「4」とした。親子学級は、災害後も他施設を借りて継続して実施し、避難で地域住民が離れ離れとなる中、子育ての悩みや不安だけでなく、地区の情報交換の場となり、地域の人同士がつながりを持つことができたことと好評であったことから「地域連携」は「4」とした。</p>
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・昨年度の運営委員会で夏休み期間の子どもたちの居場所づくりが話題にあがったため、今年度の夏休みに5日間の「ガキ大将教室」を開催した。子ども達だけでなく、保護者からも概ね良好な評価をいただいた。

② 業務の効率化に対する取組み

・就業時間中に草刈りをする時間がなかなか取れず、時間外(就業前)に草刈りをする状態が続いていたため、10月からシルバー人材センターを活用する予定だった。しかし、災害により活用することが出来なかった。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

(3) 総合評価 評価基準
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

・令和元年東日本台風災害の発生前までは、計画どおり講座を実施できた。また、夏休み中の子どもの居場所づくりを目的とした新規講座「ガキ大将教室」を企画・実施した。

・令和元年東日本台風災害の発生により施設が被災した後は、職員が力を合わせて長沼交流センターの史料や記録の復旧を行ったほか、古里公民館を借りて「すこやか子育て教室」を実施し、避難等により地域住民が離れ離れとなる中で、地域の人同士のつながりを保つための貴重な場となった。

② 次年度以降の取組み